

世帯と人口

(昭和62年12月1日)

世帯 31,162 (+80)

人口 98,795人 (+222)

男 50,815人 女 47,980人

広報 えびな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課

〒243-04
神奈川県海老名市国分155
☎ (0462) 31・2111

竜に夢のせ飛べ!! 大空を

架空の動物、竜は火を噴き雲を呼んで雨を降らせ、翼もないのに大空を自由に飛翔する超能力を持っていました。人間のさまざまな夢や願いを象徴したものといえます。

私たちの先祖は、理想の生活を追究して、この竜に限りない夢を託しました。その角は力と勇気を表わし、ひげは権威を象徴し、頑丈な四肢や鋭い爪はたくましい生活力と行動力を示しています。

指は三本が等間隔につき、球体をつかむのに最も合理的な形です。その三本の指に宝珠をつかまえています。この宝珠は財宝を表現しています。

最高の動物を創造して十二支に加えたのは、竜によって象徴された理想の生活を希求したからでしょう。

しかし、先人たちは豊かな物質生活を求めながらも、社会が醸し出す害毒についても考えていたものと思われれます。物質文明の果てに人間性の失われるのを戒め、竜のあごに逆生えた一枚の大きな鱗を加えました。逆生えてるので、これを逆鱗といいます。

竜は温順な動物で、その背に乗って天空を自由に飛ぶことができますが、一度この鱗に触れると怒り狂って人間を空中で振り落とすといわれています。「逆鱗に触れる」という言葉はこれに由来します。この鱗は人間の増長と無限の欲望を制御するための祖先の深い配慮と考えるべきでしょう。

(今年の干支、竜にちなんだ話を大谷の小島直司さんから伺いました)



快適な街づくりへ

都市計画決定 用途地域見直しなど

市は、将来の土地利用を展望、地域の環境や特性を生かした快適なまちづくりのため、用途地域の見直し、防火地域、準防火地域の拡大、また、新たに地区計画の策定を進め、

用途地域の変更

地域の特性を生かし、計画的な土地利用を進めるために、市内十五万平方メートルを要する、防火地域、準防火地域の指定区域を拡大し、防火地域は、用途地域の容積率が四百パーセント以上の地区です。

事前申請を受け付け中

母子家庭の修学や就業資金など

福祉事務所では、ことし四月に高校、大学、専門学校等へ進学する母子家庭の修学資金、就業資金、修業資金、就学資金及び就職支度資金の貸付事前申請(合格)採用決定前に申請を受け付ける制度の受け付けを、二月十五日まで行って

地区計画の決定

地区の特性にあつちまちづくりに推進のため、新たに商業地域に変更された海老名駅周辺地区約二十四万平方メートル、第一番目の地区計画区域となりました。

届いてますか入学通知書

1・2月に新入学保護者に説明会したら、教育委員会学校教育課(内別)まで。

Table with columns: 資金名, 貸付限度額, 返済期間, 償還期間. Lists various educational funds and their terms.

市教育委員会では、ことし四月に小・中学校へ入られるお子さんの保護者の方に、十二月に入学通知書(入学期日および学校指定通知書)を送りました。

Table for 新入学・保護者説明会日程. Lists dates and times for school orientation meetings across various schools.

世界平和は子どもから... 世界平和の人形使節展

1月12日からニチイ海老名店. 世界平和の人形使節展. 世界平和は子どもから... 世界平和の人形使節展. 1月12日からニチイ海老名店.



1回の回復訓練にボランティア4人の手が

リハビリ訓練に期待

ボランティア百人がお手伝い

市内上泉の谷井敏孝(四十歳)孝子(四十歳)夫妻の回復を目指す。ボランティアの方々の力を借り、いまリハビリを行っています。



2月から年6回に 国民年金の老齢年金支払い

国民年金の老齢年金は、これまで三月・六月・九月・十一月の年四回支払いとなっていました。2月から年6回に支払われるようになります。

私道の舗装工事に補助

居住者の要望など条件をそろえれば、公道とすること困難な私道舗装工事に補助。市では、公道とすることが困難な私道舗装工事に補助を行います。

健康センターサービス. 045-453-1133

1月の青空市. サービステは1月10日



1月の青空市. サービステは1月10日. 1月10日はサービステ、あつあつの甘酒を無料サービスいたします。

市長随想

気ぜわしい年末、あれもこれもと、気がかりなことが多くなっています。昨年は、一年の始まり、新しい年を迎えても、仕事に追われ、正月などと言っているうちに、多忙な日々を過ごしてしまいました。

ことしは童年

二支に加えたといわれ、これからは、日本の赤ん坊時代に育ち、日本の赤ん坊時代に育ち、日本の赤ん坊時代に育ち、日本の赤ん坊時代に育ち。

一年の始まり、新しい年を迎えても、仕事に追われ、正月などと言っているうちに、多忙な日々を過ごしてしまいました。昨年は、一年の始まり、新しい年を迎えても、仕事に追われ、正月などと言っているうちに、多忙な日々を過ごしてしまいました。

児童の健康

児童の健康を確保するため、保健センターで健康診断を実施します。児童の健康を確保するため、保健センターで健康診断を実施します。

年金受給者は現況届けの提出

年金受給者は、現況届けを提出する必要があります。年金受給者は、現況届けを提出する必要があります。

63年度入所園児の申し込み受け付け

63年度入所園児の申し込み受け付けが開始されています。63年度入所園児の申し込み受け付けが開始されています。

世界平和の人形使節展

世界平和の人形使節展が1月12日から開催されます。世界平和の人形使節展が1月12日から開催されます。

私道の舗装工事に補助

私道の舗装工事に補助が実施されます。私道の舗装工事に補助が実施されます。

健康センターサービス. 045-453-1133

1月の青空市. サービステは1月10日

市役所から. 63年度建設工事等の入札参加資格審査. 63年度建設工事等の入札参加資格審査. 63年度建設工事等の入札参加資格審査.

情緒いっぱい!



A Happy New Year!!



1月6日には「唐土の鳥と...」と歌いながら七草をたたく

まりつきで正月え

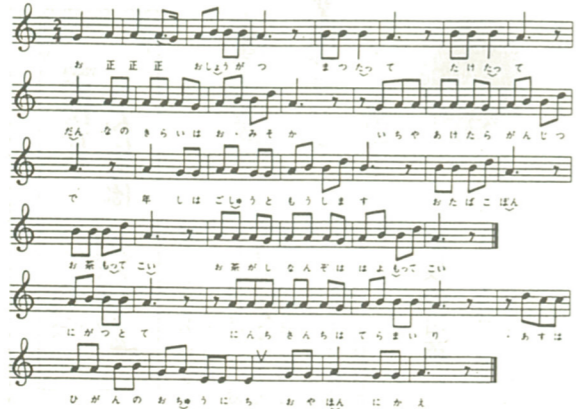
正月え



ひと昔前は、まりつきがお正月の遊びとしてよく行われていました。今年のお正月はお子さんと一緒にまりつきに挑戦してみてくださいはいかがですか

正月え、障子開けたら万歳が万歳、鼓の音や歌の声、さあ歌の声
二月とえ、二月三日は寺参り、寺参り、あすは彼岸のお中日、さあお中日
三月とえ、桜花よりおひなさま、おひなさま、飾って見たらほろほろと泣く、さあさあさあからう

手まり唄



四月とえ、死んでまたくお祝迎(しゃか)さま、お祝迎さま、竹の小びしやくで甘茶かけ、さあ甘茶かけ
五月とえ、こんこんはやり、前掛を、前掛を、正月しめよとこいといさああといいた
六月とえ、ろくに田の草とらなひはせまかろう、さあさあさあして叱られた、さあ叱られた



見た目もきれいな kadomatsu

おせちの由来は

正月には料理がつかもの。食べ過ぎないように注意ください。おせち...一年の折目折りに目に神にさなえる料理を御供(せく)といひ、おせちはこの御供が変化した言葉といわれています。料理の種類は縁起物が多く、かすこは子孫繁栄を折り、黒豆はまめに暮らす、こんぶは喜ぶなどといわれています。

◎雑煮(ぞうじ).....雑煮の具は土地や家によりさまざまです。一般に関西は白子、関東はすまし汁にもちを入れますが、そのもちも東日本は四角いきりもち、西日本では丸もちを使っているようです。家によってもちの大きさや味も異なり、これも奥の奥に隠れてお祝いがあるようです。

◎屠蘇(とそ).....元日や三が日に、病魔を殺すとか延命の効力があるとして屠蘇を飲む風習は中国から伝わりました。桔梗(ききょう)、山椒(さんしょう)などを調合した屠蘇散という漢方を味醂(みりん)や酒に投して飲みます。

海老名の正月風景



荒神(かまどの神)にももちをそなえる



みなさんはお正月をどう過ごされましたか。大人はテレビを見ながら正月、子供はファミコンに熱中し、お正月は銀行に預金...これが当世風のお正月といわれていますが、市内には昔からの風習にたい、一年の計を過す家も少なくありません。今回はこうしたお正月の行事を中心に紹介します。

年男が 行事の主役

正月の風習は各時代、各地区、またそれぞれの家のしきたりによって作法が違ったり、今では全く行われていないものもあります。ここでは、昭和初期から戦

正月の風習

前にかけて園分、大谷、本郷、下合泉、柏ヶ谷地区などで行われた正月の風習を、市教育センターの民俗文化調査研究結果をもとに紹介します。

△元日
朝、神代々の鏡守、諸神、農神、荒神、仏壇などに燈明をあけ、鏡もちや御酒をそなえます。神代々の鏡もちをそなえるのは、神代々の鏡もちの一部分、年始のときに母方の実家に持っていく風習も一部の地区にはあります。

夜になると神代々ながら鏡もちをさし、ご飯をそなえ、翌朝になると、また鏡もちをそなえます。この鏡もちのあげ方は三日間、年男と呼ばれる男性の手で行われます。年男には大谷では家の後継者が、望地では家の主人がなりました。

△二月二日
福を出さないため、元日には家の掃除をしない風習があり、この日に掃除をします。また、農家でいう「あそび」といって、屋敷にワラ仕事をし、高橋を編んで神代々にあけたら、畑に出て三畝(くわ)くらいいりながら、ほうじめ(め)編りの一種を「ほうじめ」で福を出さないため、元日には家の掃除をしない風習があり、この日に掃除をします。また、農家でいう「あそび」といって、屋敷にワラ仕事をし、高橋を編んで神代々にあけたら、畑に出て三畝(くわ)くらいいりながら、ほうじめ(め)編りの一種を「ほうじめ」で福を出さないため、元日には家の掃除をしない風習があり、この日に掃除をします。



懐かしい買いぞめ

鈴木 謙さん(移住後、79歳)が語る若き日の正月風景
正月から連想することは、小学生のころの買いぞめです。この日は、新しいシャツ、

どんど焼きは4日

△一月七日
七草がゆを作って食べます。材料の七草は、家によって五日に揃いますが、門前の某家では七草は自分の家の庭が見えない所まで行って揃まなければならないとされていました。六日の夜、摘んできた七草を神代々の前でも板にのせて、包丁やしもじでたたきながら「七草たたきに」といって、唐土の鳥と日本の鳥が渡らぬようにと歌いながら七草をたたくとされています。

△一月十一日
前日の夜に削った鏡もちを煮かきを作ります。神代々の前でも板にのせて、包丁やしもじでたたきながら「七草たたきに」といって、唐土の鳥と日本の鳥が渡らぬようにと歌いながら七草をたたくとされています。

△一月十五日
朝、あすきがゆを食べます。本郷ではあすきをゆに、おせちの具を入れたあすきがゆを食べます。

△一月十四日
市内の道祖神などの周辺に、木にさした団子を焼く「どんど焼き」を行います。これを食べると風邪や歯痛に効力があるといわれています。

△一月十五日
朝、あすきがゆを食べます。本郷ではあすきをゆに、おせちの具を入れたあすきがゆを食べます。

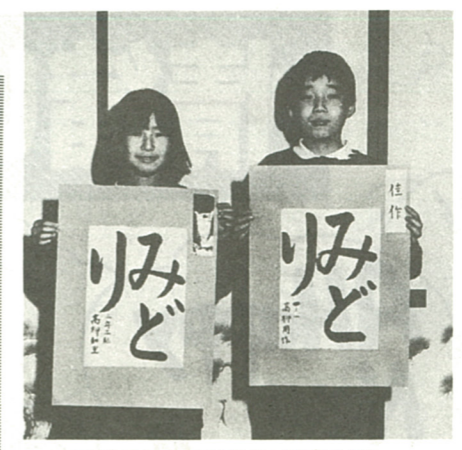
市史を 訪ねて 海老名の坂道 ① 峰坂



柏ヶ谷を通る相模線の目久尻川南側のガード下から九十番南へ進むと、左手の土手に庚申塔や道祖神の石仏、御岳社の塔などがあふれている。そこが東方に上る坂が峰坂である。海抜約六十二、標高差約十八の峰を越えることから坂の名が起った。道幅三・六、長さ約五百十、両側の崖が崩壊して溝が深かったり、防雪壕の跡などが目立つ。未舗装で今にもわらわら、靴の跡に出会いそうなお道である。坂の頂上近くは又敷十一年(一八二八年)の馬頭観音堂が建っている。少し下ると小さな家があり、道は二つに分かれる。坂の上にある文化十三(一八一

六年)の庚申塔石仏の「南かし八・多の山・加藤くら・西阿つぎ山・東江戸道」とある。この場所へ大猫などを連れてくると番臺が成仏すると伝えられ、よく花が供えられたといふ。坂を三十上った所は道幅が少し広く、地域の団子焼きの場所となっている。年番の人が年に五、六台ほどの枯木やたをまとめておき、正月十四日になると坂下の双体道祖神を道祖の下にその前ですし火を焚き、その火を松明に移し、かねて用意の薪とお餅の山に点火する。薪は次に補足され、炎は五、六時上り社殿をうらう。受付所も設けられ、前に集めておいた奉納金を子供には菓子、大人には御酒が出される。こうして無病息災や火伏せの祈願をするので、いつまでも火災は昔無といふ。坂の途中で団子焼きをするのは市内でも例がなく、民間信仰と深く結びついている故といえる。

緑の標語と書道コンクール



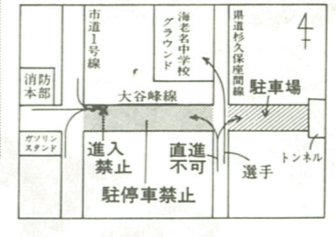
受賞作品を手に喜ぶ周作君と知里さん兄妹

県央地区みどりのまち運動推進協議会が、海老名市、厚木市など、県央地区の八市町村の小学校生徒から募集した昭和六十一年度緑の標語と書道コンクールの二入賞者、約五千三百名の応募がありました。この中で海老名市から次の五人が入賞、暮れの十一月五日、県厚木台同庁舎で表彰式が行われました。また、書道の部小学校三年生、四年生、今泉小学校三年生の高柳知里さんと、四年生の高柳周作君の二人は、兄妹で受賞となりました。

中島君ら五人が入賞

「標語の部」▽小学校佳作「ほくらで守ろう豊かできれい」

駅伝大会で交通規制



第十七回海老名市駅伝競走大会が、一月十日(日)行われますが、ゴール付近で混雑が予想されるため、当日午前十時から正午まで、上図のように交通規制をします。この協力をお願いします。

12月の価格情報 (単位:円)

品目	単位	大型店		中小店	
		平均価格	最多価格	平均価格	最多価格
しょう油	パック1L	239(▲7)	228	260(▲6)	258
みそ	詰入1kg	337(66)	358	322(4)	358
砂糖	白1kg	244(▲14)	268	258(▲11)	268
マーガリン	パック235g	182(6)	188	172(▲18)	188
サラダ油	ポリ700g	318(7)	368	309(▲10)	368
マヨネーズ	ポリ500g	259(▲22)	198	310(▲30)	298
小麦粉	薄力粉1kg	179(▲15)	198	204(▲11)	208
牛乳	パック1L	207(4)	225	197(▲8)	198
鶏卵	M10個入	149(▲96)	168	160(▲79)	168
豚肉	もも肉100g	161(▲10)	188	148(0)	128
無リン合成洗剤	精入2.65kg	880(▲22)	910	883(▲12)	910
粉石鹼	詰入3kg	910(48)	910	899(19)	910
灯油	配達18L	-	-	771(13)	800

*価格は、海老名市消費生活モニター30名の協力を得て、月初めに調査した通常平均価格です。()内は前年同月比▲印は、安。

スコアブック

海老名市ロードレース大会

十二月六日、第三回二丁目杯・海老名市ロードレース大会が行われました。コースは、七・一(海老名小学校グラウンド)・大谷一(杉久保一園分台)・二丁目(海老名小学校グラウンド)と四・七(杉久保経由を除く)の二に分かれ、合計百十人が参加、みぞれ混じりの雨が降り、寒く、素晴らしいレースが繰り広げられました。結果は次のとおりです。

【一部】(1)男子一般男子の志賀英介(2分08秒)松本幸徳(2分35秒)小島正人(2分41秒)吉北原誠

【二部】(1)男子一般男子の大附由紀(1分16秒)梅沢隆(1分33秒)二宮友子(2分47秒)橋高俊恵(3分52秒)藤本裕子(4分30秒)中野女子(4分47秒)二葉真由(4分57秒)鹿島亜希子(5分10秒)星由美(5分11秒)市川洋子

【三部】(1)男子一般男子(2分17秒)④仲村真哉(3分17秒)北原誠

【四部】(1)男子一般男子(2分17秒)④梅沢隆(1分33秒)②二宮友子(2分47秒)④橋高俊恵(3分52秒)⑥藤本裕子(4分30秒)⑧中野女子(4分47秒)⑩市川洋子(5分10秒)⑫星由美(5分11秒)⑭市川洋子(5分11秒)⑯大山勝彦(5分21秒)⑰長安三雄(5分24秒)⑱久松久男(5分43秒)⑳石塚博幸(5分43秒)㉑一明(5分47秒)㉒市川洋子(5分47秒)㉓西脇恵子(5分54秒)

公民館だより



十一月十九日に開かれた「園芸」を最後に、六十二年度第二期公民館講座の七講座がすべて終了しました。今回はその中から、「手編み」を「四季の園芸」の二つの講座の様子をお知らせします。

セーター編んだ「手編み講座」で冬の準備

「手編み講座」は「簡単にできる」から、初心者からベテランまで、幅広い年齢層の参加がありました。講師の指導のもと、セーターやカーディガンを編むのが、冬の準備の一つです。今回は、針の扱いや編みの種類など、基礎的なことを学びました。

ウェスタン・カーニバル イン・エビナ



出陣 平尾昌晃 山下敬二郎
ミッキーカーチス
三月五日(土)午後六時半
開演 市文化会館(電話32・3333)入場料は全て二千円、全席指定。大好評続出中。



シラン培養に挑戦

五月から開催した「四季の園芸」では、十一月五日に県立中央農業高校で「シラン(紫雲英)の無菌培養(ハイテク・ローズ)」の講座を行いました。講師は、同校の坂本立彦先生です。

今月のアワード

十一月十四日と十七日の両日、沖繩県で開催された「第二十三回全国身体障害者スポーツ大会」のバスケットボールの部で、神奈川県代表の「ハル神奈川」が全国制覇を成し遂げた。このチームの一員として、活躍したのが富山光政さん(三十二歳)だ。

ポリビアで牧場やりたい



「車イスを扱う技術はもちろん、腕力、スピード、そしてチームワークが大切です」と富山さん。現在の練習は週三回のペースで、午後六時から九時までの三時間に及び、大変密度の高いものである。

巡回おはなし会(梅井集会所)

図書部から離れた地区に住む子供たちのために、巡回おはなし会を開催します。一月十九日(火)、午後三時から五時、梅井集会所(内容)は、おはなし、絵本の読み聞かせ、紙芝居など。対象は、四歳以上のお子さんです。



元気にグラウンドを走る子供たち

上星小学校 業間マラソン

六年 飯嶋純子
「業間マラソン、カーン」二時間目終わりのチャイムが鳴り始める。全校児童が、あちらこちらの校舎から校庭に飛び出してくる。学年ごとに決まった所へなると、ラジオ体操が始まる。体そらが終わると、音楽が鳴り、みんながいつせいに走り出す。

学校の沿革

上星小学校は、昭和四十七年四月海老名小学校から分離独立し、児童数五百八十一人、十六学級で開校しました。

フォトピックス

正月の準備はOK

農村民芸でしめ縄作り

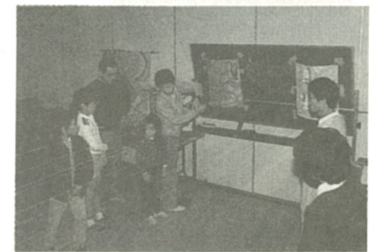


しめ縄作りを指導する大貫さん

十一月二十九日、十二月六日の二日間にわたって「親子たこ作り教室」が開かれ、親子十五組三十人が参加。講師は鎌渡

たこ作り教室に30人

親子で作った



完成した、たこの糸目を合わせる

している高齢者趣味の教室「農村民芸」で行われたもの。講師は大貫一さん(上河内)で、材料は大貫さんが縄作りのために栽培したもち米のワラを使用した。今回の参加者は、わら細工が初めて、という人が大多数で、わらじ一足編むのに二、三時間かかる人も。また、しめ縄飾りも完成したお年寄りは「これでお正月も万全」との声も...

甘くておいしい

イチゴの出荷が最盛期

海老名市の特産品にもなっているイチゴの出荷が十月から始まり、クリスマス用や正月用の出荷に栽培農家は、猫の手もかりたいほどの大忙し...

「交早生(せうせい)いわせ」から、今年はいちごのつみ取りの身持ちのよい「女峰(にょほう)」に全面転換。



おいしいイチゴがたくさん(橋本喜雄さんの農園)

と喜ばれている。イチゴは中河内地域を中心に約八十軒が百七十棟のハウスで栽培している。九月下旬に温室に定植し、十二月から六月まで

収穫される。三月までは農協の指導で共同出荷されるが、四月には個人の直売所で直販されるほか、五月にはイチゴのつみ取り観光農園もあみみえ。

収穫に舌つづみ

門沢橋小でもちつき



2人で力を合わせてベッタン、ベッタン

十二月五日、門沢橋小学校(井出操校長、児童数七百四十九人)で恒例のもちつき大会が行われた。同校では九年前から水田十アールを借りて、児童たちで田植をしてもち米を作る体験学習を行っており、もちつきは最後の仕上げ。

グラウンドには四つ臼が用意され、PTAのお母さんも手伝いで参加。つき手は高学年と低学年の二人一組で全員がきねを手にしたが、低学年の一人、二年生は、高学年のお兄さんお姉さんに助けられて、きねを振り下ろすのがやっと。

用意されたもち米百五十キログラムは、二時間あまりでもちにつぎ上げられ、PTAのお母さん方によって、黄な粉もちやあんもちにされ、きつそく全員で舌つづみ、「自分で作ったお米で、おもちができてうれしい」と皆んなニコニコ顔であった。

海老名むかしむかし

第175話

養蚕の神様(下)

養蚕の神様は、番影(ばんかげ)大権現と呼ばれるほかに金色天女(きんいろてんじょ)または谷金姫ともいわれている。柏ヶ谷小字の本山村講中に、その金色姫の掛け軸が保存されている。恐ろしくかつては春秋の社日の地神講に、地神の軸と一緒に掲げてお祭りしたのである。軸には「試影、大日本船柏、豊浦養、天笠簾伴部、金色姫、笠笠、蕪、舊、旧、依、仲、などの語記が」とあり、金色姫が船で港へ着き、権之太夫(ごんのだう)夫妻が喜んで迎える金色姫物語の一場面が描かれていて、養蚕農家の信仰の対象にされたものである。



本郷用田橋近くにある養蚕守護金色天女塔

市内には、ほかに養蚕守護の祠があり、このように昔は養蚕の神様に対する信仰が厚かったのである。(池田 武彦)

しようど大鷹の群がる山に姫を捨てた。しかし、折よく鷹狩りに来ていた国王の家来たが姫を救い、城へ連れ帰った。次に継母は姫を舟に乗せて、離れ小島に流してしまつた。たまたま舟を見つけた魚師に助けられ、またまた無事に都へと帰ることができた。継母はまずまず姫を憎んで、王宮の庭に穴を掘らせて生き埋めにしようとした。たがそれを見かねたお母さんが、穴から放たれる金色の光を見た王がこれを怪しみ、家来に掘らせてみると、姫が出てきたのでびっくり仰天。姫から話を聞いた国王は姫の手前、「姫よ、お前は神仏の化身であるから、仏教に縁の深い地に流れ着いて多くの人に功德を施さない」と、泣く泣く姫を乗せた舟に流し、海に流した。舟は漂流の末、日本の常陸(茨城県)の豊浦養に着き、老名むかしはなし」を子供



金色姫の掛け軸

海老名むかしむかし

☎33・3838

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

12月29日～1月11日 第1話 尼の泣水

1月12日～1月25日 第2話 有馬の由来

海老名むかしむかし 第一話から聞けます 六十年七月から始まった電話による「海老名むかしむかし」(☎33・3838)は約二年半で六十四話になりました。このお話は、本紙の「海老名むかしはなし」を子供